

PROGRAM

13:00-13:10

はじめに／趣旨説明

知事メッセージ

ごあいさつ(大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長)



大阪府知事
吉村 洋文



大阪府CIO兼
スマートシティ戦略部長
坪田 知巳

市町村プレゼンテーション

13:10-13:30

東大阪市(大阪ものづくり2.0)

阪南市(スマートヘルスシティ)

豊能町(子育てしやすいまちづくり)



東大阪市長
野田 義和 氏



阪南市長
水野 謙二 氏



豊能町長
塩川 恒敏 氏

プロジェクト説明(各企業代表)／質疑応答

13:30-17:00

スマートヘルスシティ

①デロイトトーマツグループ

高齢者にやさしいまちづくり

②EY新日本有限責任監査法人

③大阪ガス株式会社

④関西電力株式会社

⑤株式会社日立製作所

⑥三井住友海上火災保険株式会社

インバウンド・観光の再生

⑦凸版印刷株式会社

⑧日本電気株式会社

移動がスムーズなまちづくり

⑨アクセンチュア株式会社

⑩株式会社NTTドコモ

⑪損害保険ジャパン株式会社／大日本印刷株式会社

⑫パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社

大阪ものづくり2.0

⑬ソフトバンク株式会社

子育てしやすいまちづくり

⑭EY新日本有限責任監査法人

⑮NECネットエスアイ株式会社

／日本マイクロソフト株式会社

⑯江川 将偉 氏(スマートシティ戦略スーパーアドバイザー)

／NECネットエスアイ株式会社

OSAKA Smart City Partners Forum
PROJECT

OSAKA Smart City Partners Forum Project Presentation

大阪スマートシティ・パートナーズフォーラム
プロジェクト・プレゼンテーション 2021

2021.3.25 Thu.
13:00 START [close 17:00]

会場 リソナグループ大阪本社ビル地下講堂

※オンラインライブ配信あり

accenture

EY
It's time to think better
work, live better

NEC
NECネットエスアイ株式会社

docomo

Daigas
Group

関西電力
power with heart

SoftBank

SOMPO
損保ジャパン
損害保険の先進企業

DNP

Deloitte. トーマツ
デロイトトーマツ

TOPPAN

Orchestrating a brighter world
NEC

Microsoft

Panasonic

HITACHI
Inspire the Next

MS&AD 三井住友海上

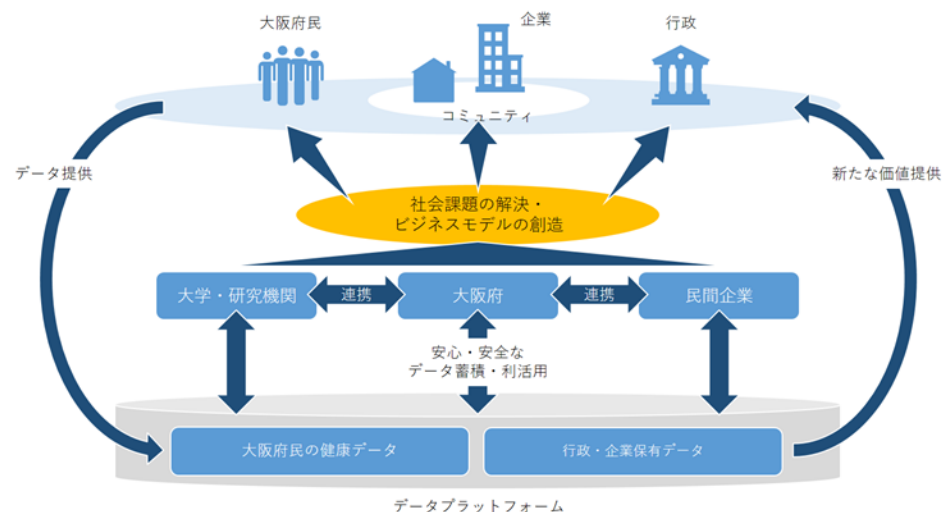
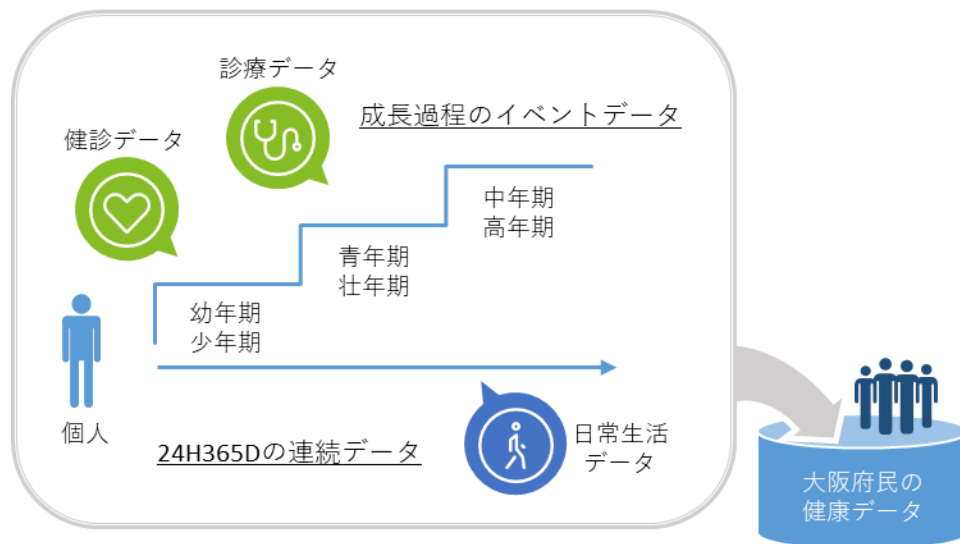
プロジェクトコーディネーター企業

スマートヘルスシティの目指す姿

大阪府内の健康課題（高齢化・感染症等）解決と 新しいビジネスモデルの創造を推進します

具体的な 取組事項

- ① 健康に関わる社会・地域課題の解決とデータ利活用ビジネス拡大のためのコンセプト策定
- ② 上記コンセプトの実現に向けた、産官学横断での検討・推進体制の立ち上げ
- ③ 健康課題（高齢化・感染症等）解決に向けたスマート化の取組み（データの利活用）
- ④ セキュアな環境下におけるデータ利活用のルールやインフラの整備を通じた新健康ビジネスモデルの創造



個人に紐づく健康データを可視化することで、府民が自身の健康状態を把握し健康増進・疾患予防のための行動へ繋がります。また、府民の健康データを継続的に蓄積・分析することが可能なデータプラットフォーム等の仕組みを構築します

蓄積されたデータを安心・安全に利活用し、産官学横断で社会課題を解決するとともに、新たな健康ビジネスを創出します。府民の健康増進に寄与するだけでなく、大阪発の新たなソリューションを世界に発信します

健康課題に応じた様々なサービス・プログラムの提供

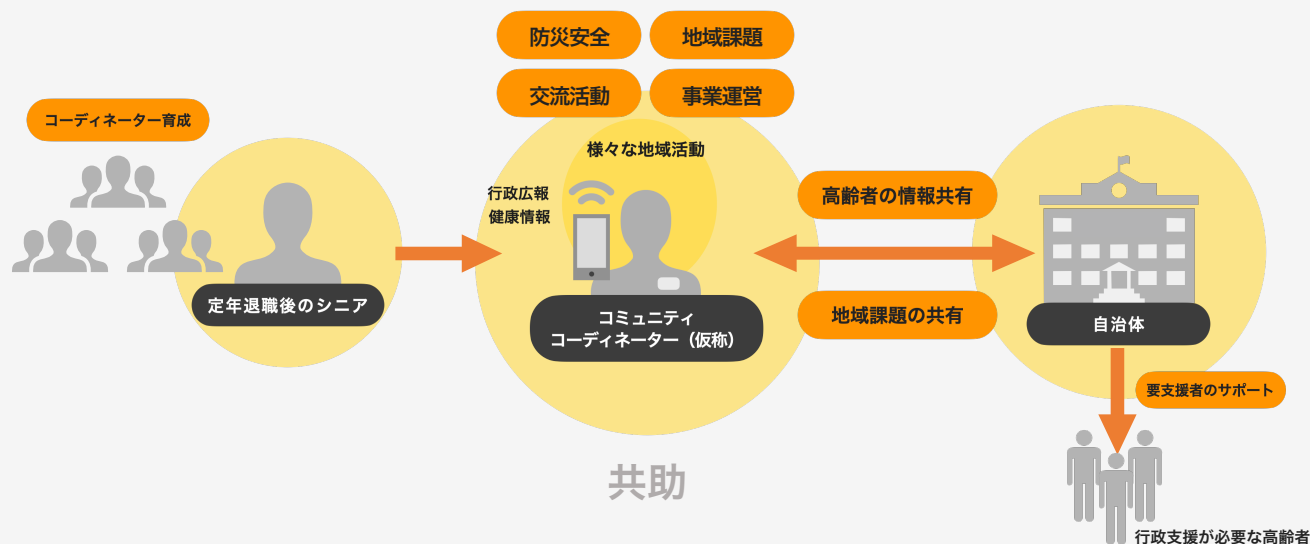


実施範囲 (Implementation Scope)

- ・ 泉大津での実証実験サイトを構築
- ・ 各健康改善サービスの効果測定・評価 (口コミ、データ)

健康改善のためのマーケットプレースの構築と他自治体への展開

池田市 x 「共助」 社会の構築・コミュニティの希薄化の解消



少子高齢化の中、**コミュニティの担い手の減少**が懸念されている。

高齢者が主役となり、互いに助け、見守り、支えることのできる

共助社会、持続可能な地域づくりを目指す。

大阪ガスは新プラットフォームを通じて事業貢献を目指します。

「人生100年時代対応」
「社会のデジタル化」へ
シニア層のデジタルサービス
利用拡大が課題

自治体が抱える課題

増加するシニア層における、
生活利便性の向上や、
健康増進機会の提供が課題

シニア層へのデジタルサービス提供 における課題

便利なサービスが次々と登場しているが、
シニア層では十分に利用できていない

大阪スマートシニアライフ事業（仮称）※

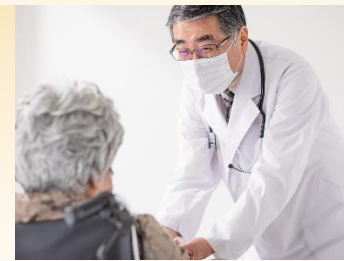
貢献

スマイLINK（スマイリンク）プラットフォーム

- シニア層にも使っていただきやすいサービスプラットフォーム
- スマートなサービスでシニア層の暮らしをサポートを目指す
- リアルとデジタルの双方から最適な体験
- 統一ID + 決裁でまとめてサービスを提供



お買い物（eコマース）



くらしサポート



予約・デリバリー

高齢者参加型エコシステムの構築 ～河内長野市さま課題解決に向けた検討～

<目指すところ>

高齢化による買物困難など地域が抱える課題を解決するために
高齢になっていく**住民自ら**、時には**役務の提供者**となり、時には**受益者**となって
取組みに参加し地域内で持続的に**循環する仕組み(エコシステム)**を構築



<河内長野市さまの課題・取組みテーマ>

オールドタウン化の進行する南花台エリアは、今後も「丘の上の生活拠点」として
引き続き住民たちの生活の拠点として期待。これまでも健康寿命延伸や元気な住民の活躍の場づくりに注力。

南花台エリアを対象に“地域コミュニティ”を通じて高齢者の抱える課題解決に取り組む

テーマ1 高齢者の健康維持のための取組み

課題① 最初から適した診療科が分からず負担。コロナ禍での受診控え。
課題② 検査結果・治療歴等を伝えられず的確な診断につながらない恐れ。

提案① A I 受診相談システム

スマホやパソコン等から入力した内容に応じて疾患の可能性をチェック。

医療受診が必要な場合、市内の適切な受診先等を提示。

→高齢者が自宅等で症状を入力し、近隣の受診先やタイミングを調べることができ適切な受診行動につながる。

提案②ヘルスケアパスポート ～健康・医療データのプラットフォーム～

医療情報や検査データ、日々の健康情報を双方向で提供。

→高齢者自身の診察結果等がスマホで確認可能。日々の健康状態を家族に共有できるため安心。また、医療機関同士での情報共有も可能となり、一貫した適切な治療が提供できる。

更なる展開

- 「ヘルスケアパスポート」を核に患者と医療とをつなぐ「A I 受診相談システム コビー」を組み合わせ、地域住民と医療機関をシームレスにつなぎ、地域医療の質の向上を目指す。
- エリア全域に導入できれば、患者→医療機関→基幹病院のシームレスな医療連携の実現が可能に。
- 高齢者の生きがいづくりのためのアバター共生コミュニティの開発実験

テーマ2 高齢者の移動手段確保のための取組み

課題①ラストワンマイルの課題解決のため、グリーンスローモビリティ「クルクル」導入に向け実証中。事業継続においては高齢化の進展による担い手不足が課題となっている。

課題②「クルクル」などの事業を継続させるためには住民負担をできる限り低減させるためシステムの低コスト化が課題。

提案①非接触充電システム、自動運転に向けた実証

→自動充電により必要な人手を削減、コスト減も可能。また、安全センサー活用等により安全性の高い自動運転走行の実証実験も可能。将来的には実導入により人手の大幅な削減が可能。

提案②モビリティの低コスト化

→(株)モビリティワークスの低価格電動モビリティを導入



更なる展開

- 災害時に弱者となる高齢者のための防災機能向上への活用
→非接触充電システムと太陽光発電+蓄電池を組み合わせゼロエミッションでの自動充電。災害時は高齢者のいる避難拠点に移動し電気を供給。
- 高齢者と若者世代の交流への活用
→高齢者も活用可能な、多様なモビリティの導入。自動運転低速モビリティ iino の導入により車内外のコミュニケーションの促進。

買物弱者課題解決を切り口とした「高齢者にやさしいまちづくり」

健康の三大要素である「食事」・「運動」・「社会交流」にみんなで取組み、活力あるコミュニティと魅力あるまちづくりをご支援します。この取組を通じ、社会との共通価値創造を目指します。

自治体様・ボランティアの皆様・農家様等の地域ステークホルダーの皆様、ならびに連携可能企業様との協業により、高齢者の買物課題を解決し、またタブレット等のICT機器活用支援や健康増進取組を、コロナ禍に配慮しつつ併せて行うことで、健康寿命延伸と生涯現役社会を目指す新たなスタイルの「高齢者にやさしいまち」を創造します。



<活動報告>

インバウンド・観光の再生

新しい観光スタイルの構築

(バーチャルアテンドオンラインツアーとライブコマース事業の構築) (今後の調整により内容が変更となる場合もございます)

概要資料／WEB掲載用

実現
したいこと

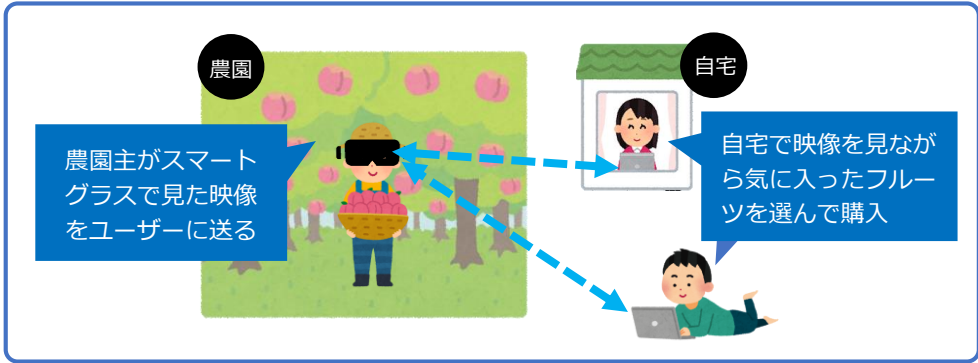
「祭りや地域の歴史・文化」とDX技術を活かした新しい観光スタイル構築。新型コロナウイルスの影響で観光が打撃。キーワード遠隔、非接触、三密回避。バーチャル映像技術を使い、地域に伝わる伝統産業、農産物、水産物、伝統行事を販売することで地域経済を活性化できる観光サービスを提供しWithコロナ、Afterコロナにおける観光復興を支援していきます。

新しい顧客獲得と製品の新しい販売手法の構築、リアル観光への意欲喚起。

泉州エリア／実証取り組み内容① (バーチャルフルーツ狩りスキームの活用)

▶最新技術による収穫体験とその場で買い物ができるライブコマースを実証する。

<実証実験> バーチャルフルーツ狩りイメージ (案)



藤井寺市／実証取り組み内容② (テレアテンドライトスキームの活用)

▶住宅地としての街における観光モデルの構築と古墳等歴史を生かした観光サービスの実証を行う。

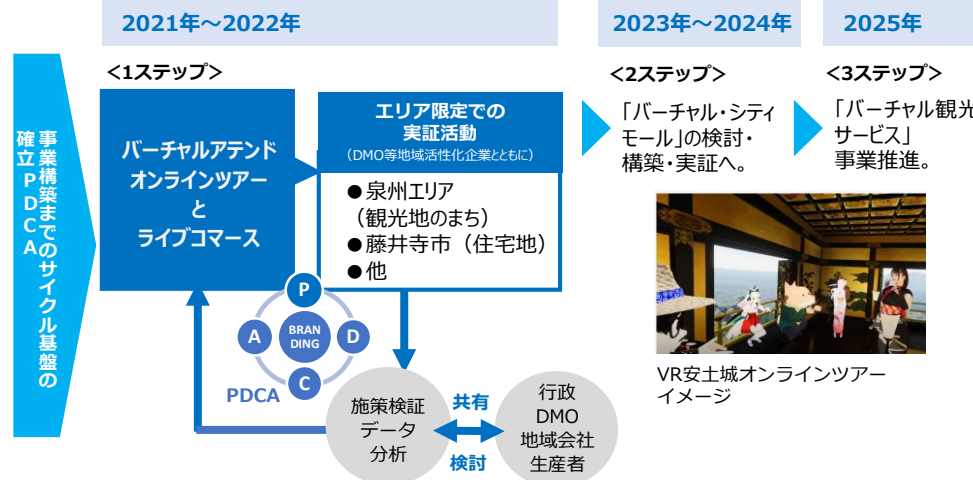
<実証実験> バーチャルアテンドオンライン／マルシェ＆古墳ツアーイメージ



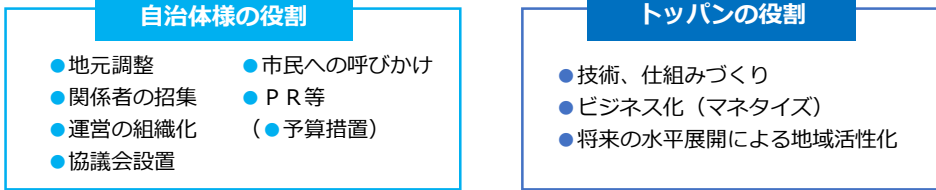
●見込める効果



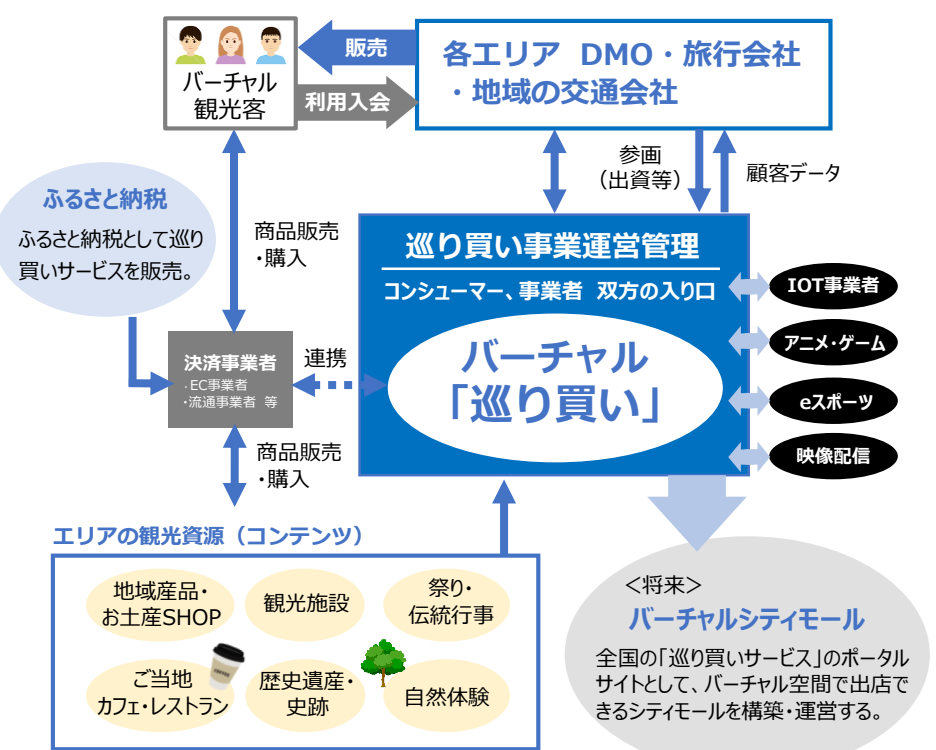
●スケジュール



●今回の実証実験において市町村と弊社の役割



●事業スキーム (BtoBtoC)



観光における“快適・便利・楽しい”様々なサービスを拡充し、共通IDで一貫して体験できる環境を整備。そこから収集した観光客の属性や行動を蓄積した観光CRMを構築・活用することで、観光施策の立案・検証や地域ファン拡大/リピート化を目指す取り組み。

■ 現地ヒアリングからの観光課題

- ・ **観光客の復活**
- コロナ前水準まで観光客を戻したい
- ・ **二次交通の不足解消**
- 分散している観光地を周遊してほしい
- ・ **観光情報の効果的伝達**
- 魅力ある観光資源が知られていない
- ・ **データに基づく施策展開**
- 観光施策検討にデータ活用されていない

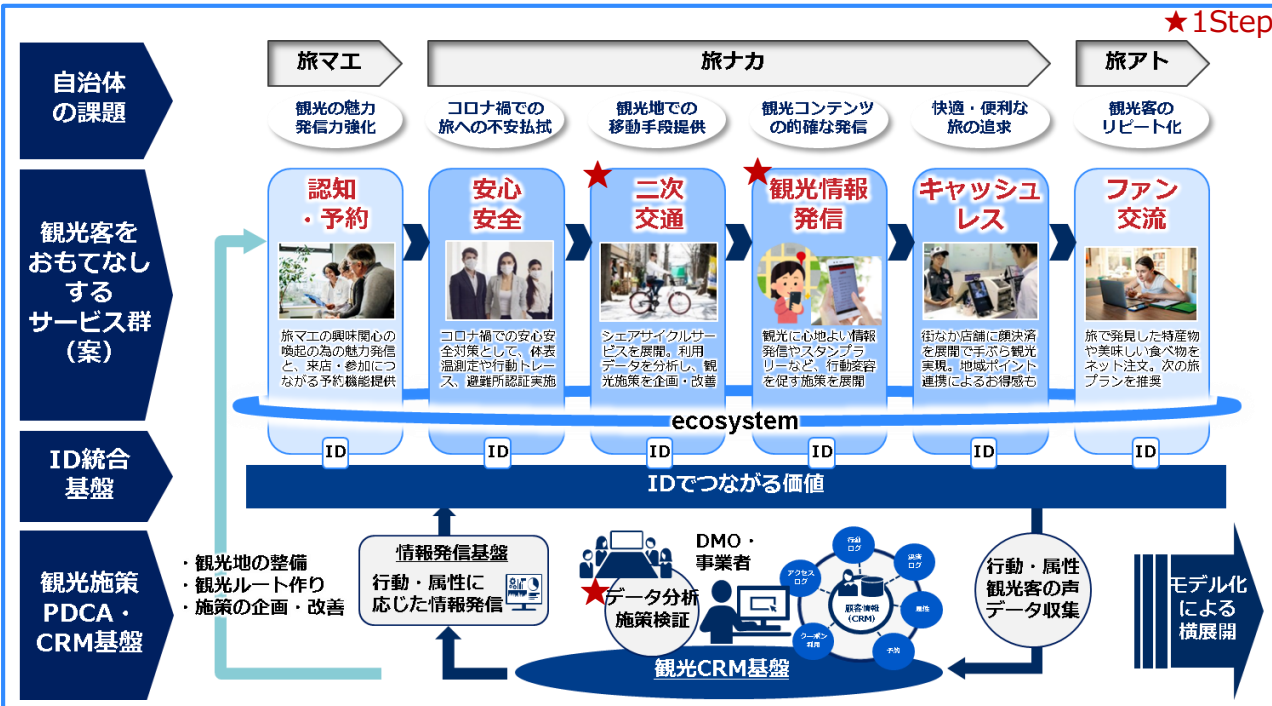
■ 課題解決の方向性

- ・ **観光客をおもてなしするサービス**
- 非接触や感染症対策など安心安全の徹底
- 観光地での移動手段の提供
- 個人に最適でタイムリーな情報発信
- 快適、便利、楽しいサービスの拡充
- 旅マエ～旅アトまでのつながりサービス
- ・ **ID統合基盤**
- IDを統合し、共通IDでサービス連携
- ・ **観光施策PDCA・CRM基盤**
- データを活用した集客、施策立案・検証、ファンとのコミュニケーション

■ 1Stepでの取り組み

- ① **二次交通(シェアサイクル)の配備**し、GPSにより観光行動を可視化する
- ② **位置情報に基づくおススメ情報**を発信して行動変容を促す
※大阪コロナ追跡システムのAPIも検討
- ③ 自治体/DMOと収集した**観光情報を共有、分析**して施策を立案・改善する

■ 目指すべきサービスモデルイメージ



■ ステップアップによる取り組み

	1Step (目安: 1年)	2Step (目安: 2-3年)	3Step (目安: 数年)
エリア	エリア限定で試行 (候補: 泉佐野市様)	複数エリアで検証	モデル化横展開によるエリア拡大
ターゲット	マイクロツーリズム試行	マイクロツーリズム+インバウンド試行検証	復活したインバウンド拡大への対応
サービスモデル	スモールスタートでの試行	他企業・他分野連携によるサービス拡充	観光プラットフォームモデル化

大阪スマートシティパートナーズフォーラム 取組み概要

<取組みテーマ> 移動がスムーズなまちづくり

◆取組み方針

弊社の目指すこと イノベーションによって世界の人々の仕事と生活をより良くする

本プロジェクトで目指すこと 弊社がこれまで培ってきた業務知識・経験と最新の情報技術活用することで、市町村と民間企業・教育機関等と共創し、大阪地域における「交通・移動」の課題を解決することにより、移動がスムーズなまちづくりを目指す

達成されるべき成果

- 【住民】外出・移動の利便性の向上による様々な日常体験の向上
- 【市町村】新たな取組みによる『移動がスムーズなまちづくり』
- 【民間企業・教育機関等】課題解決策の取組みが一過性ともならないようにするための『継続可能なビジネスモデルの成立』

◆取組み内容

自治体様が抱える交通・移動に関する課題解決に向けて、取組み対象とさせていただいた市町村様とディスカッションを実施し、課題解決策として『オンデマンド交通サービス』・『プローブカーデータを活用した交通渋滞の状況把握・分析』の2つの案をご提示。解決策の取組み実施可否含めたご検討をいただいている状況。

① オンデマンド交通サービス

<課題> 居住者の高齢者化が進み免許返納等により交通弱者となる人が増加しており、買い物等の外出機会における交通の利便性向上が必要

<解決策> 高齢者等の交通弱者の市民を対象に「買い物」「病院への通院」などの外出が必要な状況における交通利便性向上を図る事を目的とし、『**オンデマンド交通サービス**』を適用

高齢者等の交通弱者に対して、オンデマンド交通サービスを適用し交通の利便性を向上させ『外出困難の解消』『外出機会の増加』を促進することにより、「日常生活における様々な体験向上」が可能。



サービス提供

高齢者等の交通弱者

外出困難の解消・外出機会を増加を促進する
新たな交通手段の享受



オンデマンド
交通事業者

『様々な日常体験の向上』
(買い物・通院・観光・行政施設訪問 等)

② プローブカーデータを活用した交通渋滞の状況把握・分析

<課題> 主要幹線道路や主要鉄道駅前で渋滞が発生しているが、具体的な交通状況の把握ができていない為、渋滞解消に有効な対策が検討できていない

<解決策> 渋滞発生個所に対して、プローブカーデータ販売会社様が販売する『**プローブカーデータ**』を活用し、データを元に渋滞発生地点における曜日・時間帯別の交通状況や流入経路を分析し、渋滞対策の検討に活用

統計処理され、期間や時間帯別の集計分析も可能な交通情報データを道路交通データ販売会社様よりご販売。「通行状況の見える化」により渋滞状況の分析や潜在的危険個所の把握等が可能。

プローブカーデータ販売会社様

プローブ情報を元にした
交通情報の統計処理・抽出技術

データ販売

大阪府/市町村様

渋滞状況の把握
通過交通等の交通状況分析

『交通状況の見える化』
渋滞等の交通問題に対し、有効的な対策の検討が可能

◆取組み実績

<令和2年度>

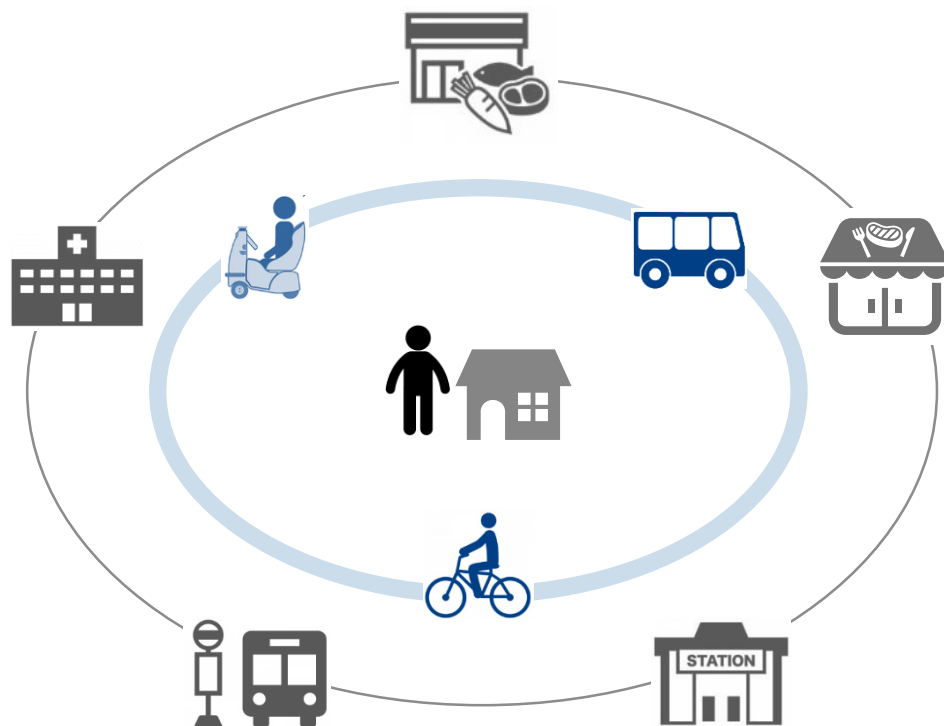
- ・ 12月より大阪府下の市町村様とディスカッションさせていただき、意見交換を実施
- ・ 取組み対象とさせていただいた 1 市町村様と交通・移動に関する課題について『課題のヒアリング』『課題の深堀り』『改善策検討』『実証計画検討』等の定期的なディスカッションを実施

◆今後の予定

<令和3年度>

- ・ 『オンデマンド交通サービスのビジネスモデル成立の実証実験の実施』
 - ・ 『プローブカーデータを活用した交通渋滞の状況把握・分析の実施』
- 上記について、提供体制案の検討など継続して実施予定

日常生活におけるラストワンマイル課題の解決



- ✓ 自動走行パーソナルモビリティ活用
 - 公道走行可能
 - シェアリングサービスで手軽に利用
- ✓ AIオンデマンドバスの活用に向けた実証
 - 広域(多エリア)展開化

モビリティソリューションで府民生活の向上

移動サービスをモビリティポートで結び、人の交流を起こして地域活性に繋げる

- まちの中に「モビリティポート」を設置し、移動サービスの発着点となるターミナルを構築。郊外とまちとの循環を創り出すと共に、移動のハブとして機能し、地域の二次交通の拠点とする。
- 「アプリレス」での利用も可能とすることで、誰もが使える移動サービスとして広く提供し、地域の交通手段・移動のハブとして定着させる。
- 一次交通の駅と結節し、市外間の効率的な移動へ拡張することで、横断的な人の往来を支援する。

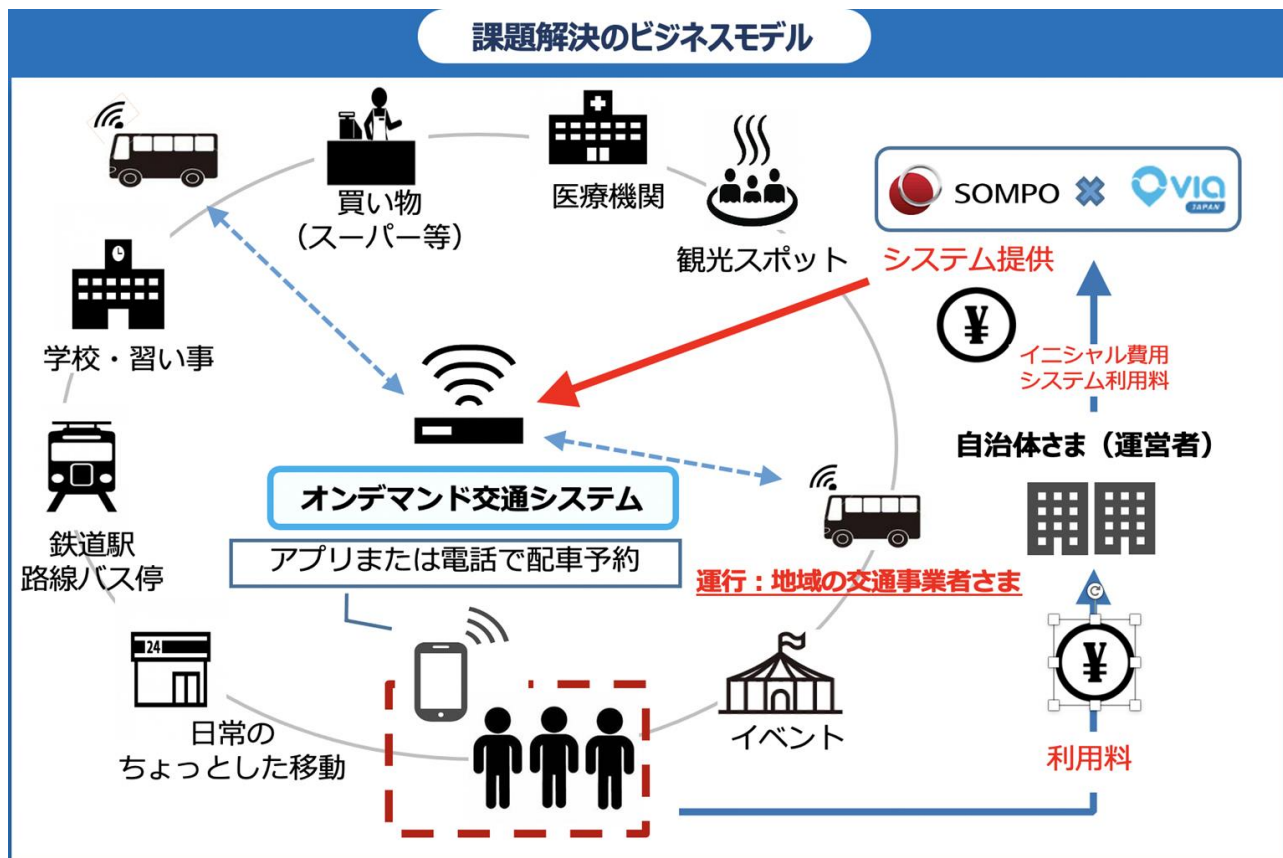


モビリティポートは複数モビリティの交差点として、交流人口を獲得しながら小さな拠点としての機能を果たしていきます。

地域住民および観光客の「自由に移動したい」の思いを支え、必要な移動を作り出すサービスを提供

- 地域への効率的な移動手段の提供（移動弱者対策/効率的な二次交通&ラストワンマイル手段）
- 点在する魅力的な施設を効率的に巡るシステム
- 市内中心部と周辺地域を結ぶ移動と“周辺地域”内における自由な移動の提供による、住民の移動の支援
- 経路検索システムでデマンド交通・路線バス・電車など異なった移動手段をまとめて検索しての、シームレスな移動の実現
- 自動運転技術との融合も視野に入れ、「ヒトとモノ」の輸送両面での相乗効果向上

課題解決のビジネスモデル



【提供できる付加価値】

- 地域内の柔軟・効率的な移動手段の提供
 - 固定時間・固定路線から
オンデマンド・柔軟な路線設計
 - 一台の車を使って複数の人の移動をシェアすることによって効率的な輸送を実現
- 住民幸福度向上を促進する“移動”へのピンポイント支援
 - 社会的公共的意義が高い活動
(健康診断・選挙活動参加促進) への移動促進
 - 社会的配慮が必要な方など
(高齢者・妊婦移動) の移動支援
※特定移動目的の方にクーポン配布など

地域内移動を包括的に支援できるシステムをご提供

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

「移動がスムーズなまちづくり」



パナソニック システムソリューションズジャパン 株式会社

地域住民の移動手段ニーズと運用側の課題とのミスマッチ

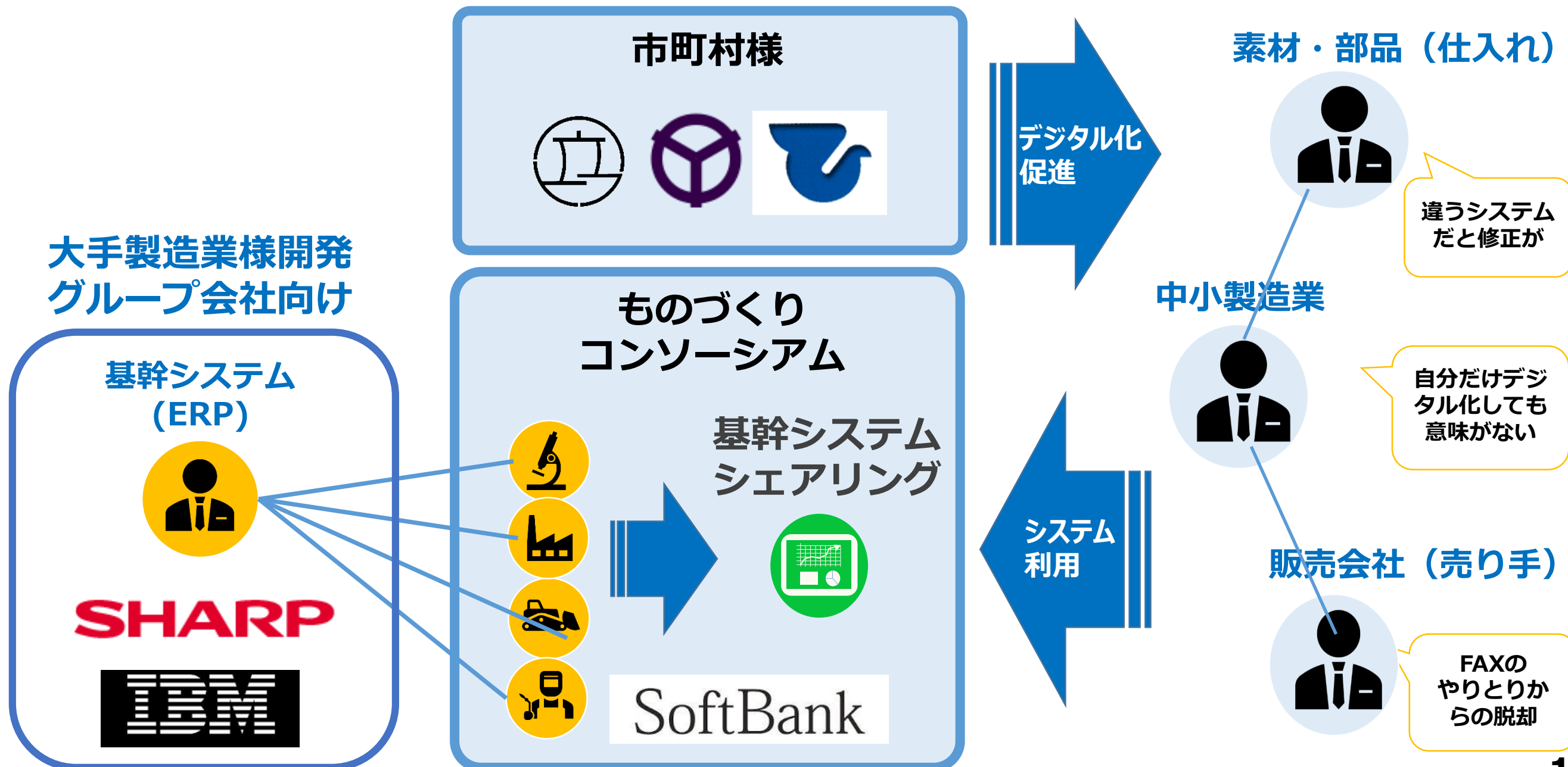


バス運行の質的充足で地域住民QOL向上

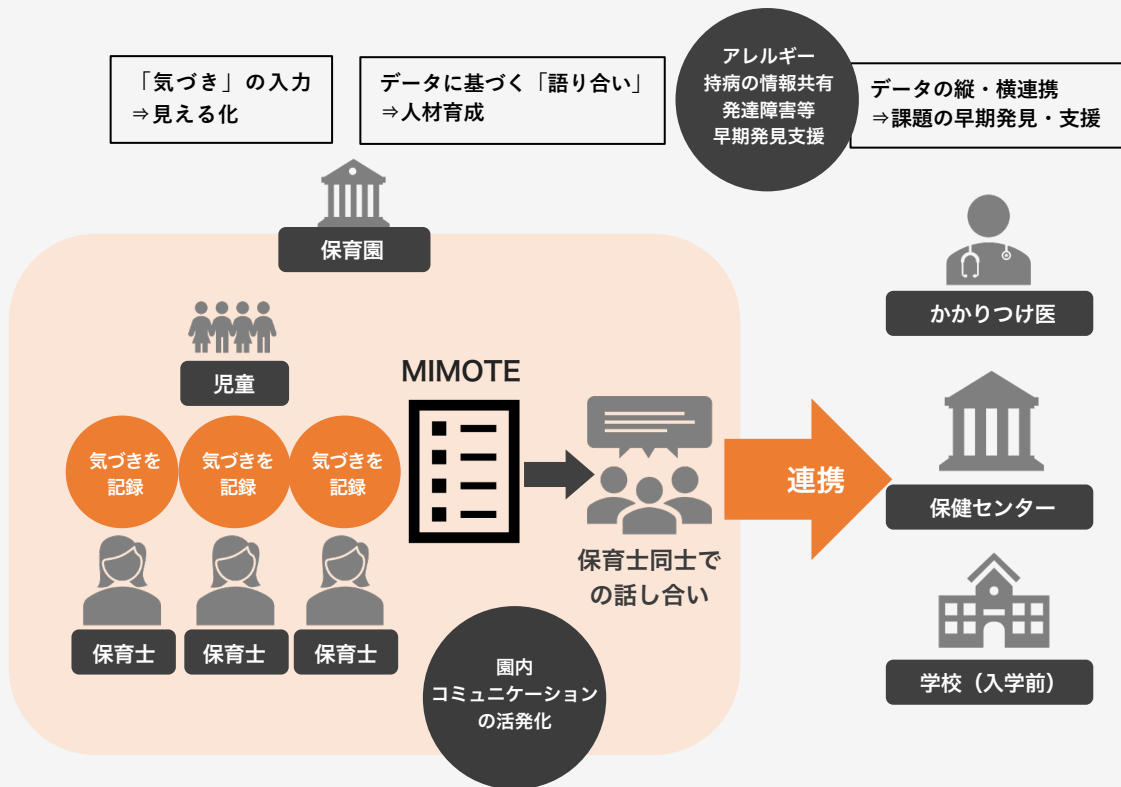


ものづくり2.0プロジェクト～基幹システムシェアリング～

大手製造業がグループ会社用に開発したシステムを
月額利用料にて利用する（シェアリングする）



“気づき”の可視化による保育の“質”の向上



公助・自助を、共助で支え、
子育て世帯に寄り添い、暮らしやすい街を目指します。



関係者みんなで街の在り方を考え、 デジタル先進国の北欧（エストニア）文化を含めて取組み

リモートワーク環境充実西地区
(市街地へのアクセスもできる街)

豊能町

北欧体験ができる東地区
(リラックスを中心とした街づくり)

ネットワーク環境 NEC
リモートオフィス NEC
地域交流サービス NEC
デジタル教育 MS&AD 三井住友海上
買い物支援 MS&AD 三井住友海上
子供見守り NEC
高齢者見守り 関西電力
シェアモビリティ NTT docomo

町内住民8割が西地区

リモートワーク
タウン

移動手段



ネットワーク環境 NEC
文化交流サービス 豊能町
デジタル教育 MS&AD 三井住友海上
買い物支援 MS&AD 三井住友海上 関西電力
(子供見守り) NEC
(高齢者見守り) 関西電力
体験サービス 豊能町
まつりイベント 豊能町
地域電力 関西電力
行政効率化

リモートワーク環境と生活環境の改善を図り
都心部への転出を抑制し、都心部へ流出した人を
「Uターン」を図りながら西地区の活性化を図ります

西地区

東地区

街のインフルエンサー

北欧文化を学び
住民と一緒に
街づくりを考える

自然豊かな環境を北欧文化を
取り込みながら豊能文化を再
構築

都会の疲れを癒す街

色々なサービスで地域の活性
化やコミュニティを構築

子育てしやすい街づくり（高齢者にやさしい、移動しやすい含む）
n対nの公民共同を先行した大阪府スマートシティ戦略スーパーアドバイザープロジェクト